



「きょうの言葉」より

### 短歌を楽しもう

**きょうの言葉**

遠からず老人ホームにあしたのジョー、  
おそ松くんら氾濫すべし

「過去未来」 吉竹純よしたけじゅん

例えば、1970年代、ロックやポップスは若者の音楽だった。ジャズやクラシックはなんとなく大人の音楽。演歌を聞くのは中高年だと考えられていた。

ならば、ハイティーン  
の時にロックを聞いていた者が、中年になったら演歌を聞き始めるのか。40年の後、かつてロックを聞いていた人々が、ロックを聞かなくなると演歌を聞くようになったという事実は、どうやらない。

当時の若者は、年季を重ね若い頃よりもいろいろな音楽を知って、TPOに応じてさまざまな音楽を楽しむようになってきているかもしれない。

でも、かつてロックを聞いていた者はやはりロックを聞いている。  
いや、むしろ、今ではロックは中年の好む音楽であり、楽器店で高価なエレキギターを買うのは主に中高年らしい。若者はロックではなくレゲエやヒップホップを聞いている。60歳を過ぎて一人で酒を飲みながらしみりと演歌を聞くようになった、という人に出会うこともあまりない。

子供のころ、「あしたのジョー」や「おそ松くん」を読んで育った人たちが、そろそろ老人ホームに入る年代に差し掛かる。  
吉竹純さんは、コピーライターで歌人。  
(小説家・阿川大樹)

○ 音読しよう

○ 「遠からず老人ホームにあしたのジョー、おそ松くんら氾濫すべし」の「べし」は、次のどの使い方でしょう

【当然・義務】	～なければならない
【推量】	～だろう・～ようだ
【意志】	～つもりだ・～しよう
【可能】	～できる
【命令】	～せよ
【適当・勧誘】	～のがよい・～よう

○ この短歌の意味を自分の言葉で書いてみよう。

○ この短歌は、現代の社会の状況をもとに詠まれています。それは、どんな状況でしょうか。

○ 自分の身近なできごとや今話題になっていることをもとに短歌を詠んでみよう。